

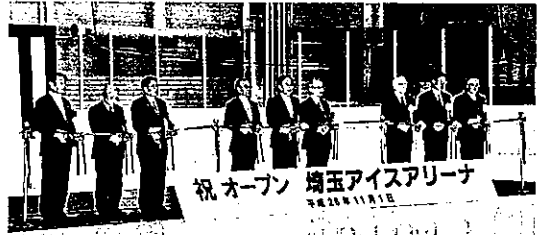


佐藤支部長

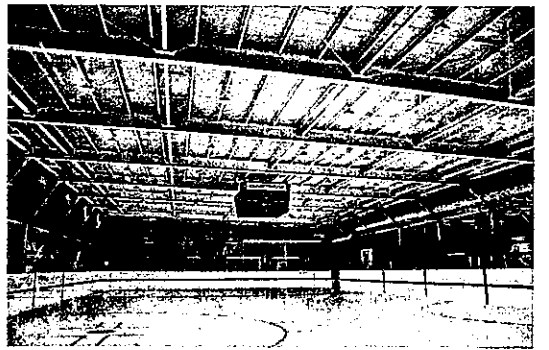
全国ビルトH工業会・西日本支部(支部長 佐藤忠男・垣見鉄工取締役)は、今年度から来年度にかけての各委員会(技術認定・市況対策)の活動内容を決定し、各委員も確定した。決定した内容は、組立作業の標準化、BH原価低減

# JFEシビル 「埼玉アイスアリーナ」が完成 システム建築「メタルビル」を採用

JFEシビル(本社・東京、藤井善英社長)がシステム建築「メタルビル」を採用し、埼玉県上尾市に建設中の「埼玉アイスアリーナ」が完成し、1日にオープンが行われた。



アリーナでテープカット(右から2人目が藤井社長)



埼玉アイスアリーナの内観

新工法が豊富に採用されている。竣工式には藤井社長が出席し、県首脳らとともにテープカットに臨んだ。「埼玉アイスアリーナ」

は埼玉県初の国際規格通年型アイスリンクで、延床面積約5300平方メートル。鉄骨を約350ト使用し、設計・施工はJFEシビルが担

当した。同アリーナに採用された「メタルビル」は従来工法に比べ約15%工期を削減し、耐震性能をアップする豊富な新技術を採用した。ひさしの方杖材として新タイプの高性能座屈拘束ブレース「J-UPブレース」、柱・梁には二重鋼管座屈補剛ブレースを用いた「ニーブレース工法」を採用し、耐震性能を飛躍的に高めた。基礎には杭と柱を一体化させ基礎梁を省略する「キャ

ップ式いちいち基礎工法」を用いて、工期を大幅に短縮した。このほか、屋根はガルバリウム鋼板を用いた「Kルーフ」、壁には表裏の間に断熱材を入れたサンドイツパネル「KBパネル」などが行われた。

## 9月の全鉄連流通動態調査

### 販売増も、需給引き締まらず

全国鉄鋼販売業連合会(阪上正章会長)が東京・大阪・愛知の会員企業69社を対象に実施した9月の流通動態調査によると、対象6品目合計の販売量と仕入

## 全国ビルトH工業会・西日本支部

### 各委員会の活動内容と委員決まる

の手段、厚板と溶材の関係、SAW溶接試験要領、SAW機器のメンテナンスと新規導入、矯正作業の効率化、社長)、加工アンケートの充実、加工エキストラの研究と溶着金属加算、販売価格と原価の把握、コストダ

夫、委員 田崎千恵、三浦進、青木信之、藤田頼孝、佐藤吉信、橋田宗昌、村田和彦、福塚正之、恵良辰夫、藤屋弘昭、石田曉玄、北浦悟、伊井宗春、森光健二、遠藤泰司▽市況対策委員会 委員 三木伸一、委員 餅田良二、長江隆、塩谷秀和、山根重一、関川高志、橋田宗昌、高橋圭二、福塚正之、岡哲朗、岡田直矢、榛葉康広、北浦悟、岡山忠博、森智明、坂本欣也